

(別紙4(2))

事業所名: グループホームめぐみ荘

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 3 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	管理者は職員に対し6つの理念のうち特に【よりその人らしく】を意識して伝えているが、他の理念についても意識した支援やサービスの提供ができる様に試みてほしい。	職員に6つの理念を意識してもらおう。	毎年、年度初めに6つの理念に基づいた年間目標を立ててもらい支援に繋げていく。 達成状況など中間評価、年間評価を行う。	1ヶ月
2	5	身体拘束をしない取り組みについて、日々の支援の中で職員自身の振り返りができるように簡易マニュアル等を職員の目に付く場所に掲示するなどの取り組みを期待したい。	職員が身体拘束についてより理解を深め振り返りや意識できるようにする。	身体拘束の11項目、実施に当たっての3要件ほかフィジカルロック、ドラッグロック、スピーチロックを記した簡易マニュアルを作成する。 職員が確認、意識できるように目に付く場所に設置する。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。